

1

第一小学校の六年生の学級では、「卒業文集はパソコンを使ってつくるか、手書きにするか」という議題で、それぞれの立場に分かれて討論会とうろんかいを行っています。次は、そのときの【討論会の様子】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【討論会の様子】：①・②・③・④・⑤の発言の内容は、あとの問いと関係があります。

司会



これから討論会を始めます。今回の議題は、「卒業文集はパソコンを使ってつくるか、手書きにするか」ということです。ではまず、パソコンを使う立場からの主張をお願いします。

パソコンを使う立場の主張

丸山



① はい。ぼくは、パソコンを使う方がよいと思います。手書きは、文字を書いたり消したりするのがめんどうだからです。パソコンであれば、何度でも簡単に書き直すことができるので、作業に取り組みやすいと思います。

大野



② 私わたしもパソコンを使う方がよいと思います。記念に残る卒業文集なので、読みやすくつくるべきだと考えます。手書きだった去年の卒業文集には読みにくいところがありました。パソコンであれば、文字が上手かどうかに関係なく、文字の形や大きさがそろっているので、読みやすくなります。

司会



次に、手書きの立場からの主張をお願いします。

関口



はい。ぼくは、手書きの方がよいと思います。六年生のときの手書きの文字をそのまま残した方が、記念に残る卒業文集になると思います。

平川



③ 私も手書きの方がよいと思います。学校のパソコンは、利用できる場所や時間が限られています。手書きであれば、場所や時間を気にせず、自分のペースで作業を進めることができるので、取り組みやすいと思います。

手書きの立場の主張

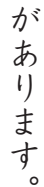
手書きの立場からパソコンを使う立場への質問や意見

「記念に残る卒業文集のあり方」について

あなた

（討論会が続く）

大野さんの発言に対して



があります。

イ

司会



ほかにありませんか。（発言がないことを確かめて）ないようであれば、次に、二つ目の「記念に残る卒業文集のあり方」について、質問や意見をお願いします。

「ア」について

丸山



確かに、パソコンを上手に使えない人は時間がかかると思います。そうであれば、使い慣れている人が、そうでない人に教えながら取り組むこともできると思います。

谷



丸山さんの発言に対して意見があります。全員がパソコンを使いこなせるわけではないので、作業に時間がかかってしまい、完成がおそくなります。パソコンを使うよりも、手書きの方がスムーズに取り組めるので、手書きがよいと思います。

丸山



はい。学級の半分ぐらいの人は、使うことに慣れていると思います。

林



⑤丸山さんの発言に対して質問があります。私はパソコンの操作が得意ではありません。パソコンを使って文章を書くことに慣れている人は、学級に何人ぐらいいると考えていますか。

司会



④ここで、一度整理をします。それぞれの主張に共通する観点が二つあります。一つ目は、丸山さんと平川さんから出された「ア」についてです。二つ目は、大野さんと関口さんから出された「記念に残る卒業文集のあり方」についてです。では最初に、手書きの立場からパソコンを使う立場に対して、二つの観点それぞれについての質問や意見を出してもらいます。まず、一つ目の「ア」から、質問や意見をお願いします。

一 【討論会の様子】の中の司会④の ア の中には、丸山さん①と平川さん③の発言に共通する観点が入ります。ふさわしい内容を、二人の発言に共通する言葉を使って、**十二字以内**で書きましょう。

二 【討論会の様子】の中の林さん⑤の質問は、どのようなねらいがあると考えられますか。その説明として最もふさわしいものを、**1から4**までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 相手の主張の内容と自分の主張の内容との共通点を知ろうとしている。
- 2 相手の主張に対する自分の考えが理解されているかどうか確認かくにんしようとしている。
- 3 相手の主張の中で述べられていないことがらをくわしく聞き出そうとしている。
- 4 相手の主張の中に理由が述べられていないことを明らかにしようとしている。

三 あなたは、【討論会の様子】の中の イ のところで、大野さん②の発言に対して、手書きの立場から「質問」か「意見」かのどちらかを述べます。解答用紙の □ の中に「質問」か「意見」かのどちらかを選んで書き、その内容を次の条件に合わせて書きましよう。

